



# 高知県立大学における実務家教員の活躍

高知県立大学地域教育研究センター長 清原泰治

# 高知県立大学における実務家教員数

## ◇本学における実務家教員の数

76名／122名

## ◇学部ごとの内訳

文化学部 4名

看護学部 46名（健康長寿センター所属の2名を含む）

社会福祉学部 20名

健康栄養学部 5名

地域教育研究センター 1名

（教育研究戦略課調べ）

# 「実学の大学」

実践を大切に、学問を創ってきた歴史と伝統

高知県立大学における実務家教員の活躍  
—社会福祉学部を事例に—

社会福祉学部の実務家教員 20人／24人

学生定員 70名／学年

## 社会福祉学部の使命

「地域で活躍できる福祉・介護人材を育てる」

社会経験が少ない若い学生たちに、自らが経験してきたこと、  
見聞きしてきたことを生かして講義をすることができるから、  
学生たちは深く理解する

福祉や介護の現場を知っているから、  
実践と理論をつなぐことができる！



国家試験の合格率が群を抜いている

「現場」の経験が学生指導にも！

「すぐ動く！」というソーシャルワーカーのマインドが生きている！

科学研究費の採択率が高い！

実務家教員は、現実の福祉課題に対する“センサー”の感度が高い！

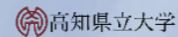


研究計画に仕上げていく経験が少なくても、  
チームワークで乗り越えていく！

# 社会連携活動—「豊かな暮らしにつながる学び」の提供

## <地域教育研究センター>

高知県立大学公開講座

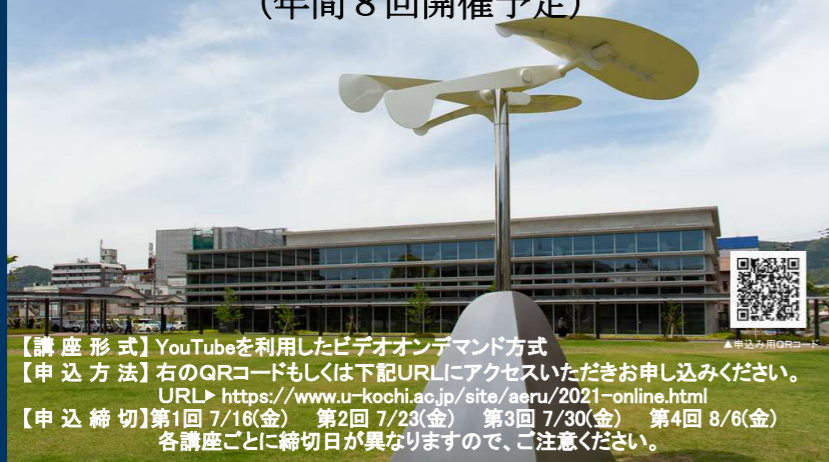


### 令和3年度 県民大学 公開講座

オンライン講座 (受講料無料)

### 豊かな暮らしにつながる学び

夏期4回開催  
(年間8回開催予定)



【講座形式】YouTubeを利用したビデオオンデマンド方式  
 【申込方法】右のQRコードもしくは下記URLにアクセスいただきお申し込みください。  
 URL▶ <https://www.u-kochi.ac.jp/site/aeru/2021-online.html>  
 【申込締切】第1回 7/16(金) 第2回 7/23(金) 第3回 7/30(金) 第4回 8/6(金)  
 各講座ごとに締切日が異なりますので、ご注意ください。

お問い合わせ 高知県立大学 地域教育研究センター TEL:088-821-7125  
 E-mail: [aeru@cc.u-kochi.ac.jp](mailto:aeru@cc.u-kochi.ac.jp) URL: <https://www.u-kochi.ac.jp/site/aeru/>

## <健康長寿センター>



### 2021高知県立大学 健康長寿センター事業 リカレント教育講座 —ようこそ! 知のフィールドへ—



高知県立大学社会福祉学部は、社会福祉領域のプロフェッショナルを養成する四国唯一の公立大学であり、西日本の公立大学としては数少ない、三福祉士資格取得(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)に対応しています。

<p>教授 田中 きよむ 11月1日(月)よりWeb公開</p> <p><b>地方における貧困問題と地域共生社会</b></p> <p>地方における貧困問題は、都市部の貧困問題と異なり、表面化、顕在化しにくい側面があります。この講座では、高知県におけるホームレス問題を事例として、地方における貧困問題の特徴を明らかにします。そして、地方の良さを生かしながら「貧困」や「差別」と向き合い、生活困窮者支援などの生活課題に取り組みながら、「持続可能な地域づくり」を進める方向性について考えたいと思います。</p>	<p>田中 きよむ Kiyomu Tanaka</p> <p>●PROFILE                  京都大学大学院経済学研究科後期課程単位取得退学。ホームレス状態の人のための支援活動に取り組みながら、社会保障制度のシステムや住民参加型地域づくりに関する研究を続けている。2006年より本学に兼任。                  ○専門分野:地域福祉論、社会保障論                  ○学位:修士(経済学)</p>
<p>教授 長澤 紀美子 11月15日(月)よりWeb公開</p> <p><b>多様な性の理解とSOGI/LGBTQをめぐる人権課題</b></p> <p>今年2月には高知市で「パートナーシップ登録制度」が導入され、3月には札幌地裁で同性婚の不受理は憲法違反であるとした判決が示され、性的少数者をめぐる社会の状況は急速に変化しつつあります。「いるのに見えにくい」、地方における性的少数者の生活課題を理解し、すべての人が自分らしく生きられる、排除や差別のない、多様性を認め合う「共生社会」づくりに向けて、一人一人ができることを考えてみませんか。</p>	<p>長澤 紀美子 Kimiko Nagasawa</p> <p>●PROFILE                  新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了。高知県・高知市の人権に関する審議会委員、県内自治体や教育関係者への人権研修講師を務めながら、国際的な社会政策及びSOGI(性的指向・性自認)に基づく差別禁止やジェンダーについての研究を行う。2003年より本学に兼任。                  ○専門分野:国際福祉、女性福祉                  ○学位:博士(学術)</p>
<p>教授 杉原 俊二 11月29日(月)よりWeb公開</p> <p><b>保護者の「語り」と児童虐待の予防</b></p> <p>分断や孤立が続く世の中で、語ることのできる仲間や支援者を持つことが大切です。このことが児童虐待予防に結びつくと、多くの研究で明らかになってきました。自分の心的トラウマをうまく処理しつつ、「語る」ことや「聞く」ことができれば、児童虐待の予防につながるという実例を通しながら、つながることの意味を一緒に考えてみましょう。</p>	<p>杉原 俊二 Shunji Sugihara</p> <p>●PROFILE                  香川医科大学大学院医学研究科保健衛生学専攻博士課程修了。高知県のスクールソーシャルワーカー育成に尽力しながら、地域を支える児童・家族福祉分野のソーシャルワーク研究を続けている。2009年より本学に兼任。                  ○専門分野:児童福祉論、家族療法                  ○学位:博士(医学)</p>

Web配信 YouTube  
 ●お問い合わせ  
 高知県立大学 社会福祉学部(池キャンパス)  
 〒781-8515 高知市池2751-1 TEL.088-847-8610 (実習支援室内)





次世代の福祉・介護人材の養成にも！

高知県キャリア教育推進事業

<https://www.u-kochi.ac.jp/uploaded/attachment/6135.pdf>

認知症サポーター養成講座「認知症を地域で支える」

<https://www.u-kochi.ac.jp/uploaded/attachment/6375.jpg>



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS